

リフォームのポイントは

「経済力あるうちに判断」

住みかえセミナー

石狩振興局と恵庭市は9日、「これからの住居リフォーム・住みかえセミナー」を市民会館で開いた。中高生を中心に約60人が参加し、リフォームのポイントなどを学んだ。

恵庭商工会議所、北海道建築士会恵庭支部、北海道建築指導センターが後援。「悩んでいるより聞いてみよう」を副題に、入場無料で二つの講演会を開いた。

このうち恵和建築設計事務所(札幌)の山本明恵代表は「自宅に快適に住み続けるためのリフォームのポイント」をテーマに講演し、「リフォームは自分に合った業者を探し、できることから無理せず」と呼び掛けた。



約60人が参加したセミナー

山本さんは「目で、聴く、気力、経済力のあるうちに判断できるように暮らすのが、体力、断捨離が大事」と指摘

「あれも、これも、」
「辺りあちこち手をつけて大騒ぎ。60歳を過ぎたら9年先ぐらいを考えた」と説明した。
その上で「費用を掛けなくともできる」と強調し、例として「あれも、これも、」
「今後は低気圧型の住宅に「随分手を付けたい。温かい空気が随に行かないよう随段前に扉を付ける」を具体的にアドバイスした。
引き継ぎ後住、住みかえ支援機構の香藤道生副代表が「もう一つの選択肢、住みかえとマイホーム活用」をテーマに講演した。